

# 2021年3月期 第3四半期 決算説明資料

2021年 1月 28日

アイティメディア株式会社

証券コード:2148 東証第一部

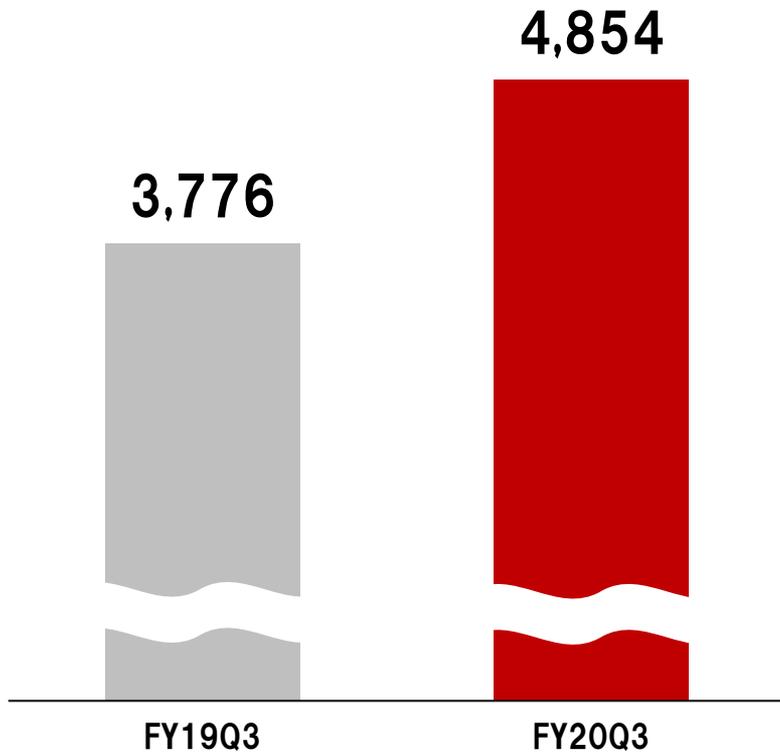
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、様々な要因及び業況の変化により、記載されている予想とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。
- 当社の業績に影響を与えうる事項は「2020年3月期 有価証券報告書」の「事業等のリスク」に記載されておりますので、ご参照ください。ただし、業績に影響を与えうる要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。
- 本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。
- この資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料及びデータの無断転用はご遠慮ください。
  
- 当社は、2016年度第1四半期決算より、国際財務報告基準 (IFRS) を任意適用いたしました。  
本資料の業績数値は、比較年度である2015年度よりIFRS基準、2014年度は日本基準に基づき記載しております。
- 2020年3月期において、ナレッジオンデマンド株式会社の株式譲渡を実行したことに伴い、同社を非継続事業に分類しております。これにより非継続事業からの損益は、要約四半期損益計算書上、継続事業と区分して表示しております。これに伴い、売上収益および営業利益は、継続事業の金額を表示しております。なお、2019年3月期についても同様に組み替えて表示しております。

# 2021年3月期 第3四半期業績概況

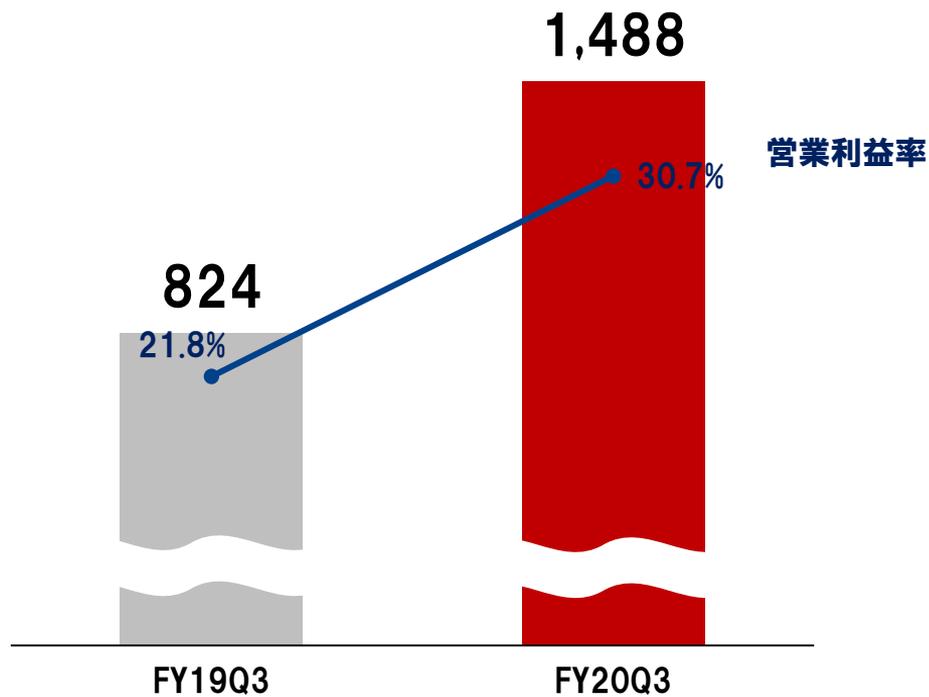
## 過去最高のQ3累計業績

- ✓ **テクノロジー市場は好況 + 企業のマーケティング活動のオンラインシフト**
- ✓ **売上収益 28.5% 増**
  - ・リードジェン事業 好調な既存事業に加え、デジタルイベントが急成長
  - ・メディア広告事業 業務システム等ビジネス領域中心に広告拡大
- ✓ **営業利益 80.5% 増**
  - ・リードジェン事業 デジタルイベント強化によりコスト増加も利益率向上
  - ・メディア広告事業 増収に伴い利益率が向上
- ✓ **通期業績予想、配当予想を上方修正**

## 売上収益 (+28.5%)



## 営業利益 (+80.5%)



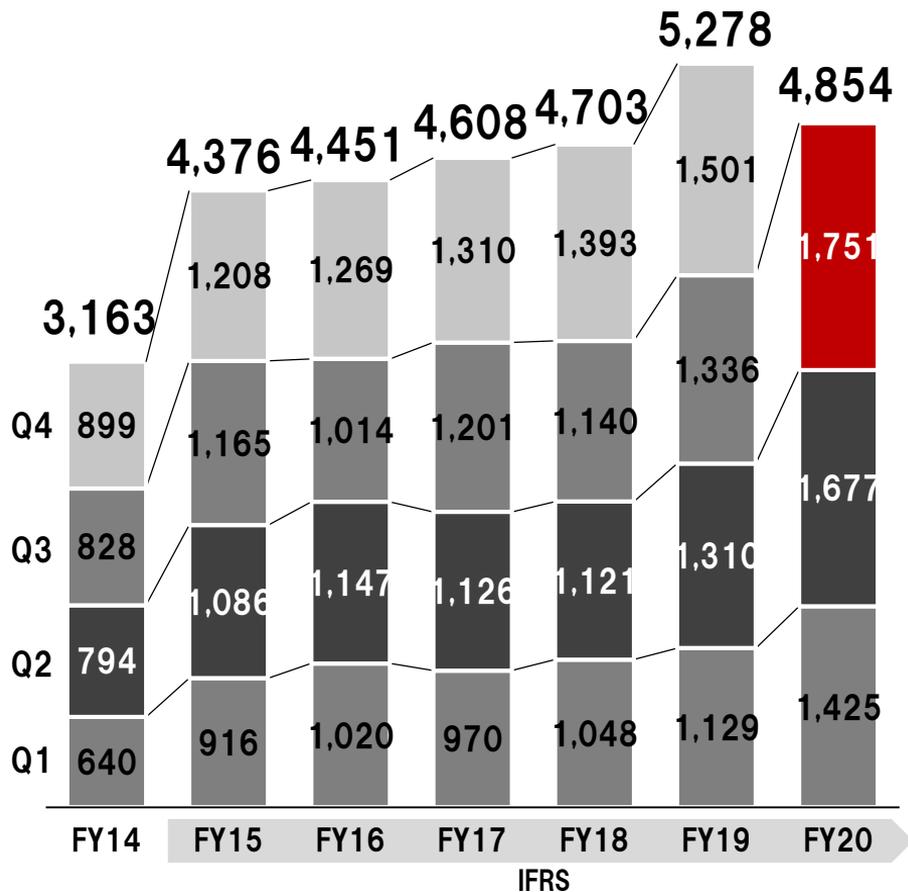
# 連結損益計算書

(百万円)

	FY19Q3		FY20Q3		増減率
	金額	売上比	金額	売上比	
売上収益	3,776	100.0%	4,854	100.0%	+28.5%
総コスト	2,951	78.2%	3,366	69.3%	+14.0%
（うち人件費）	1,669	44.2%	1,886	38.9%	+13.0%
EBITDA	1,069	28.3%	1,735	35.7%	+62.3%
営業利益	824	21.8%	1,488	30.7%	+80.5%
四半期利益	596	15.8%	954	19.7%	+60.0%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	595	15.8%	954	19.7%	+60.5%
四半期包括利益	508	13.5%	1,185	24.4%	+133.0%

# 売上収益（四半期別）

（百万円）



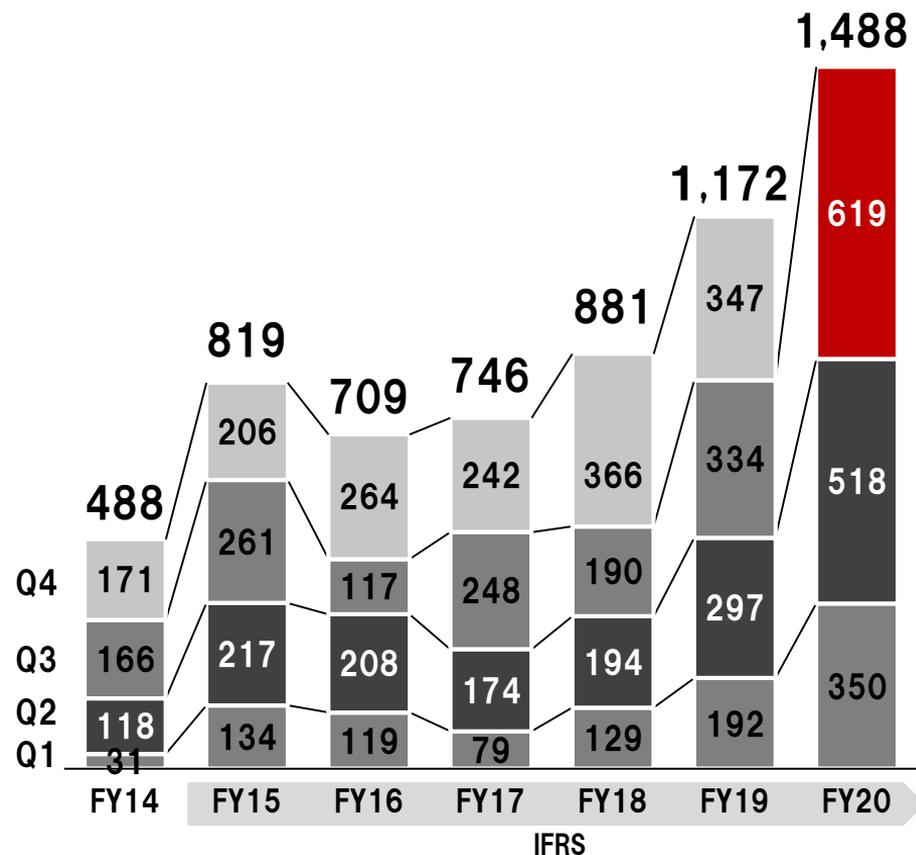
Q3 **1,751** 百万円

前期比 **+414** 百万円 (+31.0%)

✓ **過去最高の四半期業績**

# 営業利益（四半期別）

（百万円）



Q3 **619** 百万円

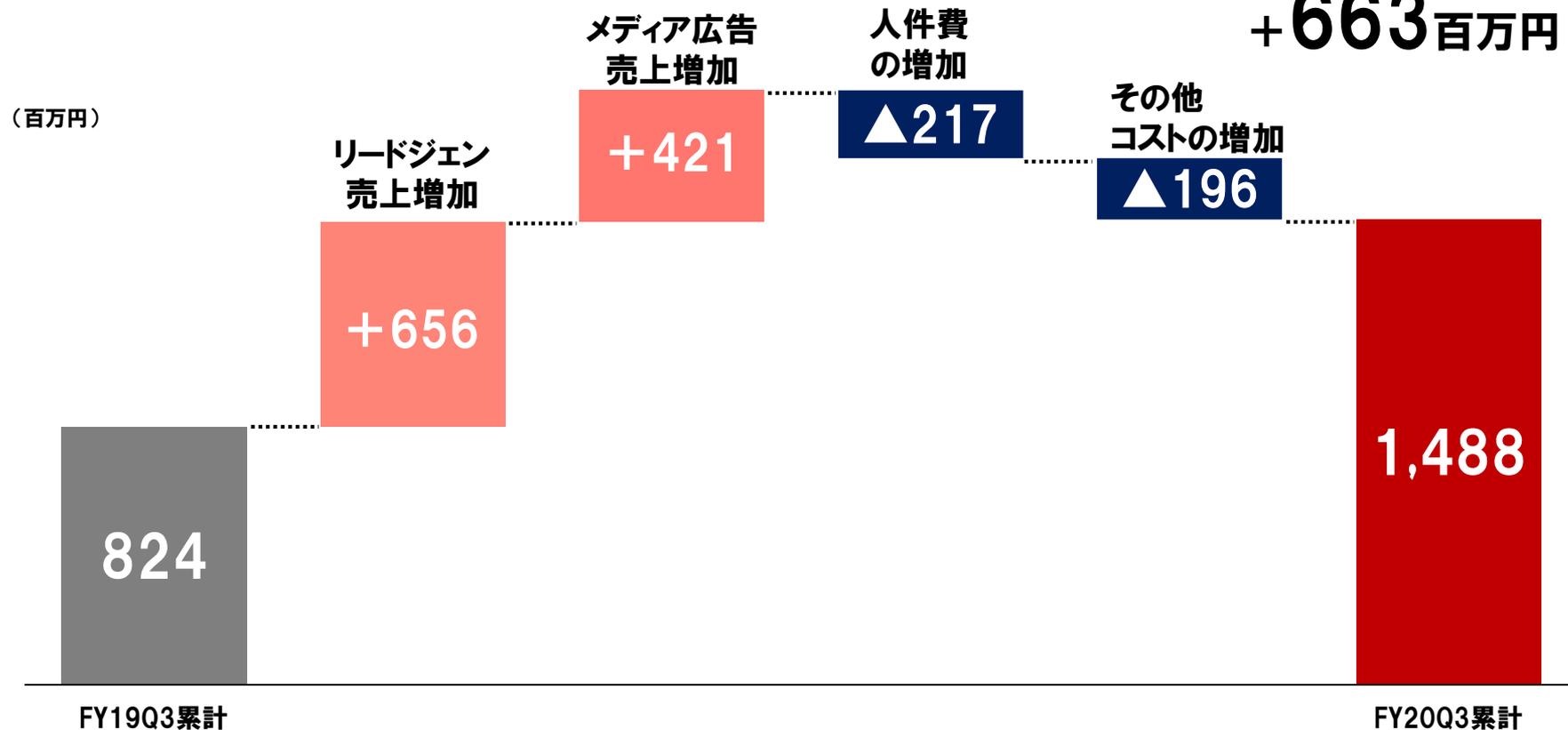
前期比 **+284** 百万円（+84.9%）

✓ **過去最高の四半期業績**

# 営業利益 増減分析

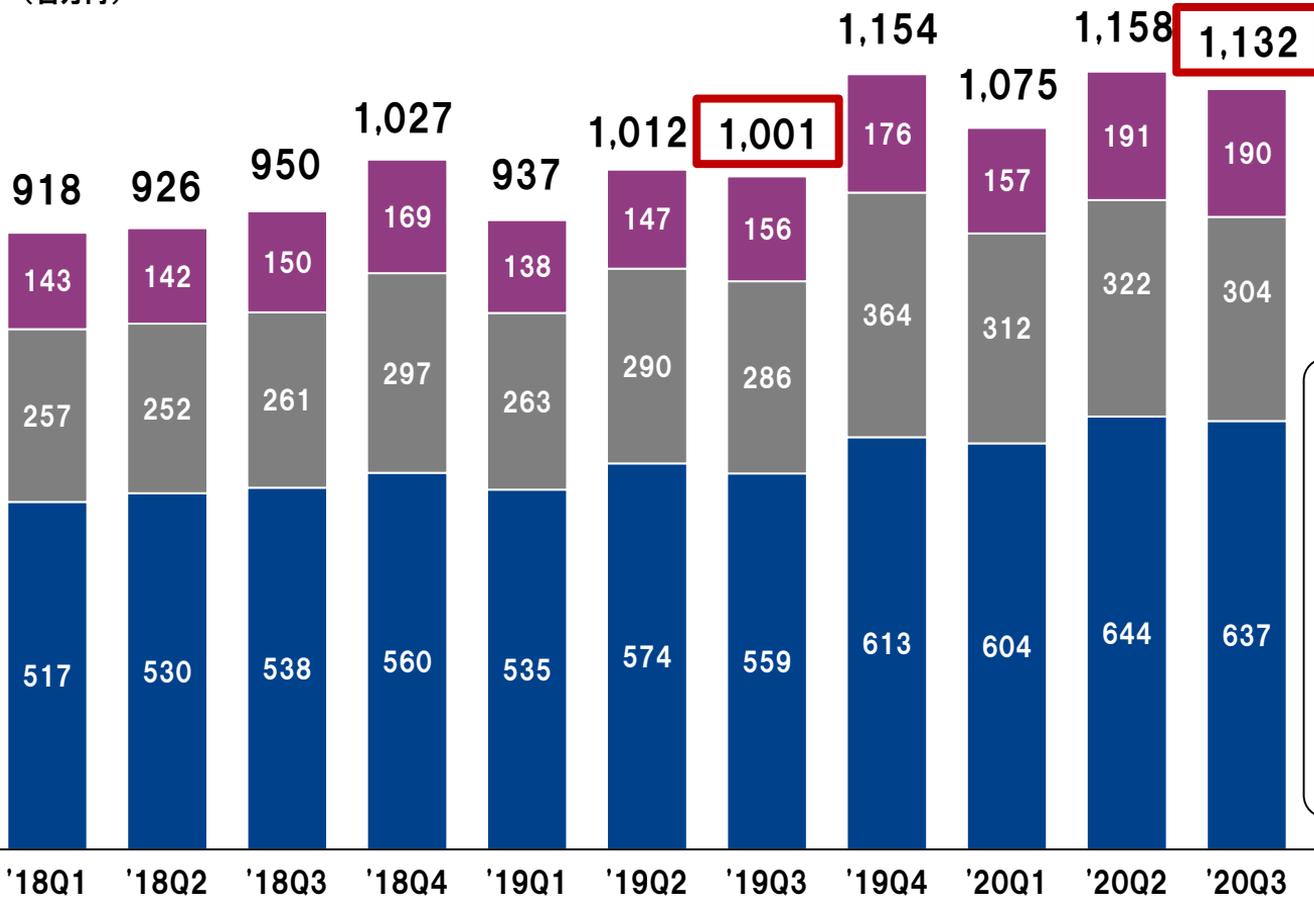
- ✓ 増収による増益
- ✓ デジタルイベント等成長領域への投入を継続

前期比  
+663百万円



# コストの内訳 四半期推移

(百万円)

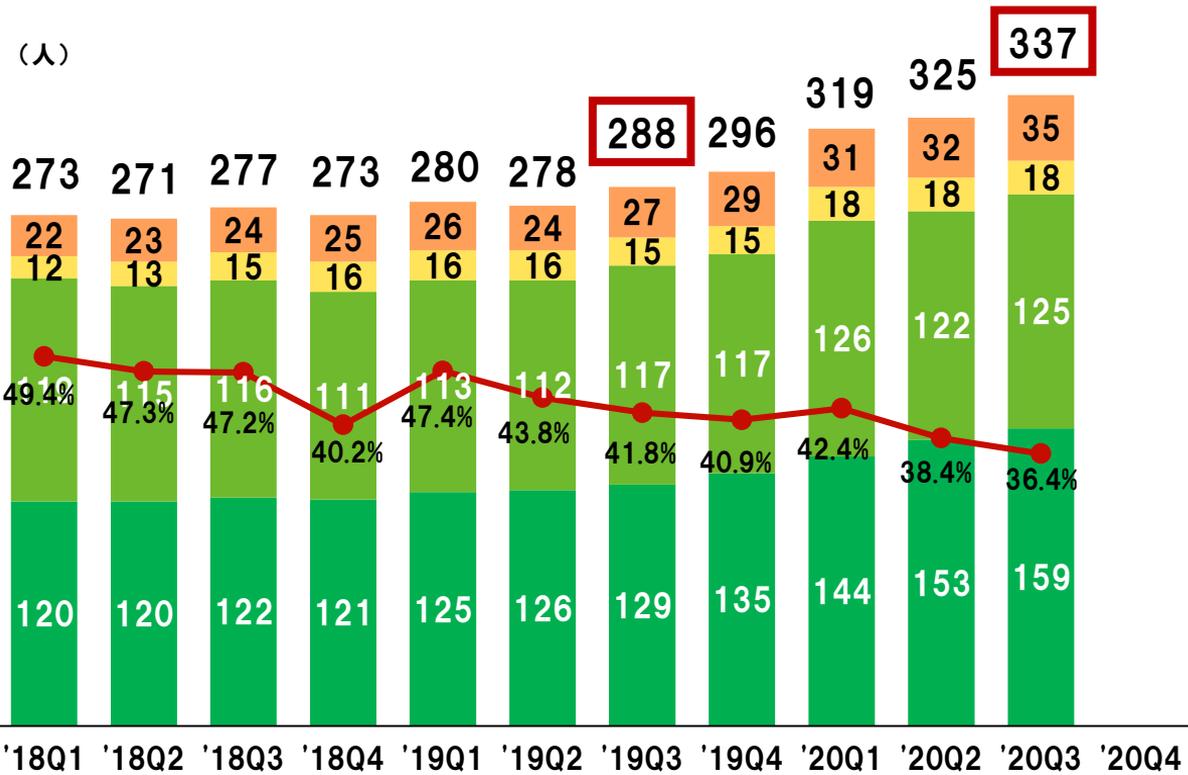


Q3会計期間	前期比	構成比
合計	+13.0%	100%
外注費	+21.7%	16.8%
その他	+6.5%	26.9%
人件費	+13.9%	56.3%

- [主な前年同期比増加要素]**
- 人件費+77
    - ・人員増加
    - ・賞与増加
  - 外注費+33、その他+18
    - ・売上連動(デジタルイベント含む)
    - ・コンテンツ
    - ・業務環境・システム

# 従業員数の内訳 四半期推移

\*契約、派遣、アルバイトを含む



Q3 会計期間	前年同期比	構成比
合計	+17.0%	100%
管理系・その他	+29.6%	10.4%
技術系	+20.0%	5.3%
営業系	+6.8%	37.1%
編集系	+23.3%	47.2%

$$\text{売上収益人件費率} = \frac{\text{【販管費】人件費} + \text{【原価】労務費}}{\text{売上収益}} \times 100$$

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	FY19Q3	FY20Q3	差異
営業活動による キャッシュ・フロー	887	1,550	+662
投資活動による キャッシュ・フロー	▲98	▲99	▲1
財務活動による キャッシュ・フロー	▲354	▲435	▲81
現金及び現金同等物の 増減額	434	1,014	+580
現金及び現金同等物の 期首残高	3,383	4,302	+919
現金及び現金同等物の 期末残高	3,817	5,317	+1,499

## 営業CF 主な内訳

継続事業からの 税引前利益の計上	+1,431
減価償却費及び償却費	+246
法人所得税の支払額	▲351

## 投資CF 主な内訳

無形資産の取得による支出	▲27
関係会社株式の取得による支出	▲72

## 財務CF 主な内訳

配当金の支払	▲257
リース負債の支払額	▲177

# 連結財政状態計算書

(百万円)

		2020年3月末	2020年12月末	差異
資産の部	流動資産	5,698	6,730	+1,031
	非流動資産	1,536	1,556	+20
	資産合計	7,235	8,287	+1,052
負債の部	流動負債	1,273	1,405	+132
	非流動負債	74	67	▲6
	負債合計	1,347	1,473	+125
資本の部	資本金/資本剰余金	3,559	3,559	▲0
	利益剰余金	2,612	3,308	+696
	自己株式	▲344	▲344	▲0
	他包括利益累計額	59	290	+230
	親会社の所有者に 帰属する持分	5,887	6,814	+926
	資本合計	5,887	6,814	+926

1株当たり親会社の 所有者に帰属する持分	297.05円	343.81円	+ 46.76円
親会社所有者帰属持分比率	81.4%	82.2%	+ 0.9pt

資産合計	
現金及び現金同等物	+1,014
使用権資産	▲171
その他の金融資産	+336

負債合計	
リース負債	▲177
未払法人所得税	+125
その他の流動負債	+190

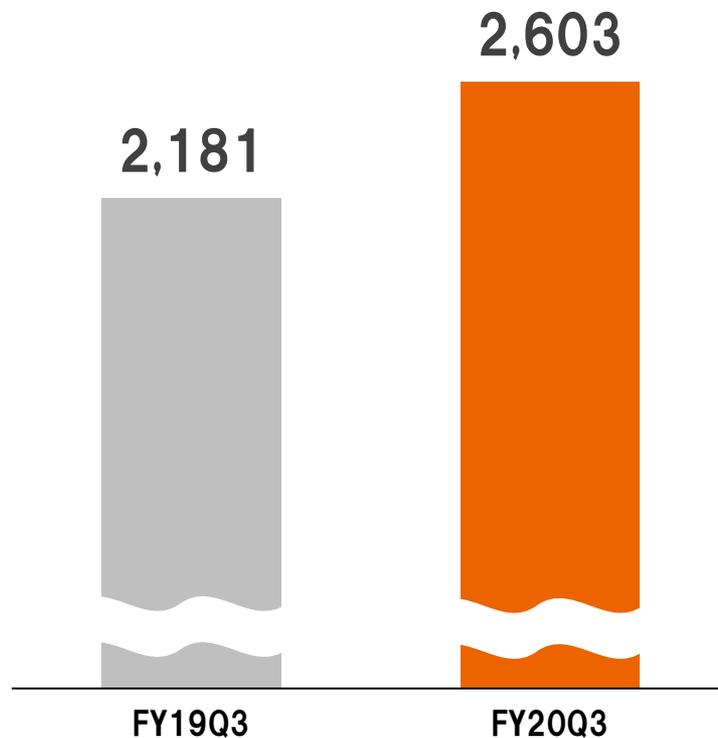
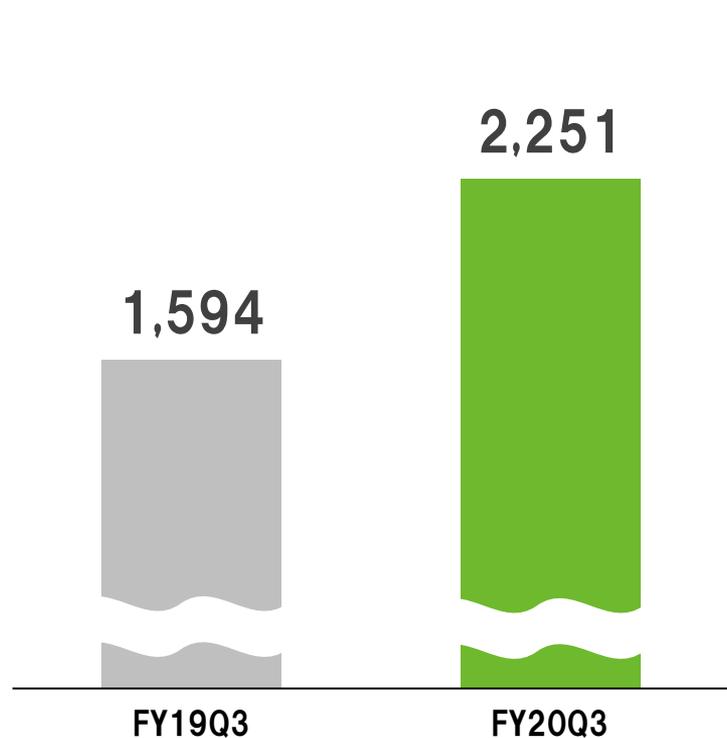
資本合計	
利益剰余金	+696
うち、当期利益	(+954)
うち、剰余金の配当	(▲258)
その他包括利益累計額	+230

# セグメント別売上収益（累計）

## リードジェン事業 （+41.1%）

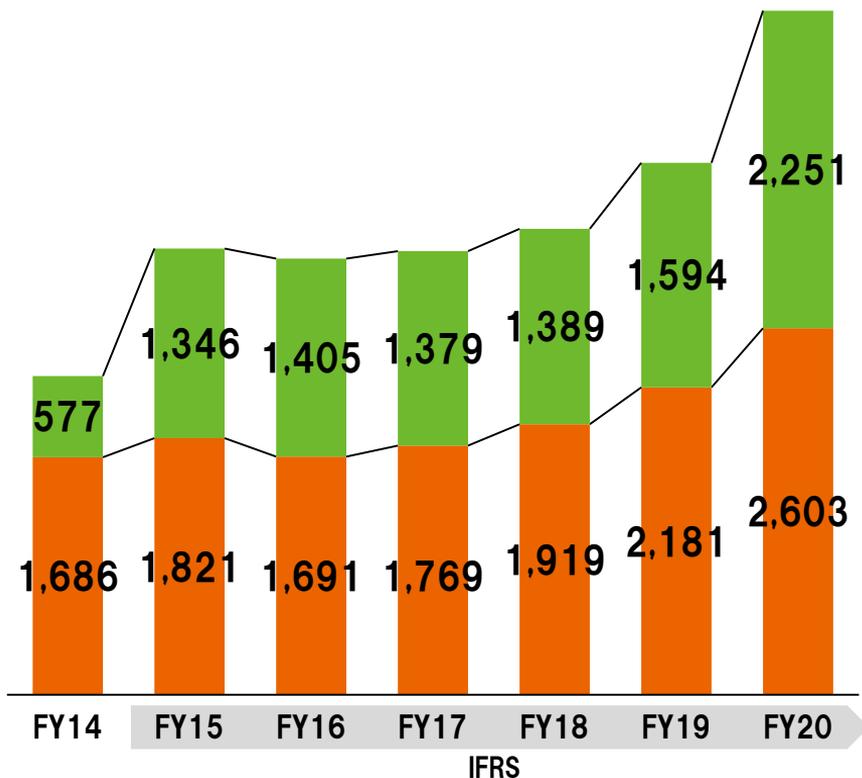
## メディア広告事業 （+19.3%）

（百万円）



# 売上収益 セグメント別（累計）

（百万円）



## リードジェン事業

前期比 +41.1 % Q3累計過去最高

- 既存事業は成長継続
- 加えてデジタルイベントが急成長

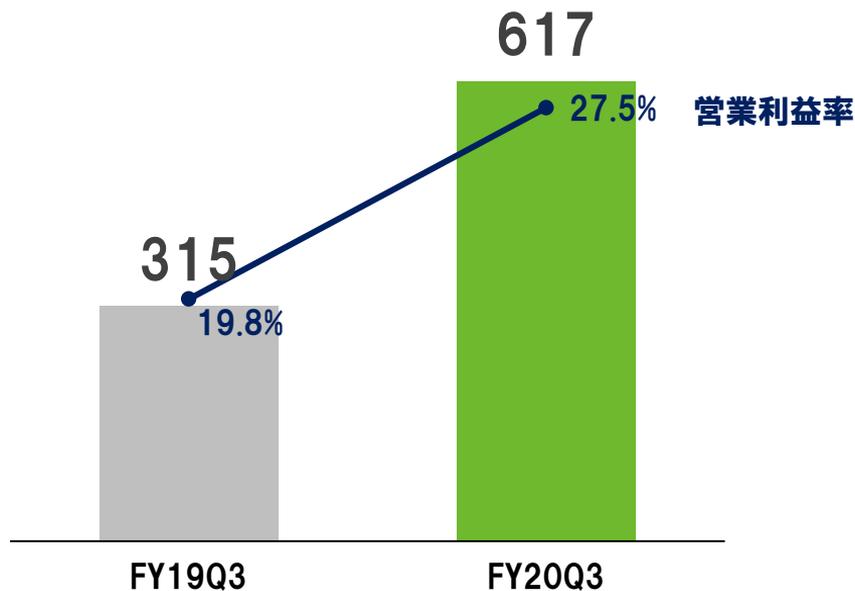
## メディア広告事業

前期比 +19.3 % Q3累計過去最高

- 業務システム等ビジネス領域中心に広告拡大

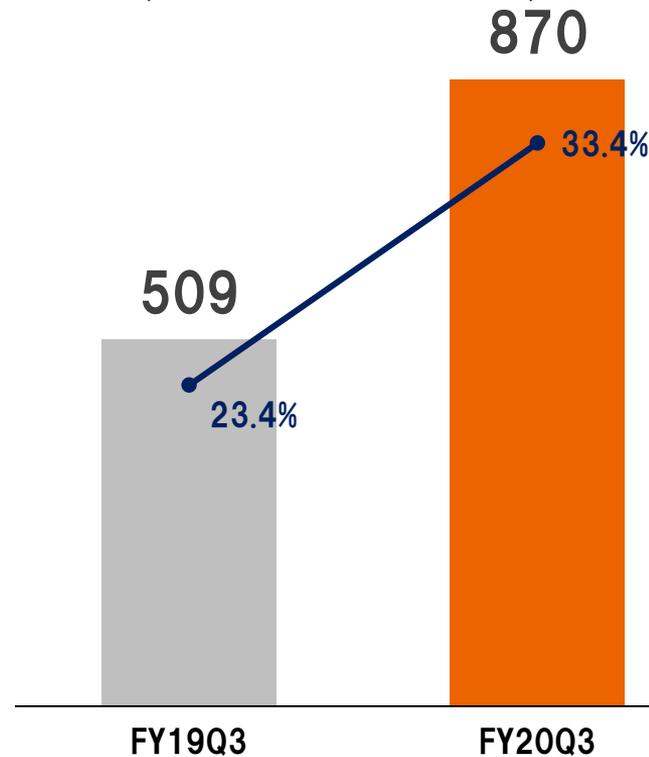
# セグメント別営業利益（累計）

## リードジェン事業 （+96.2%）



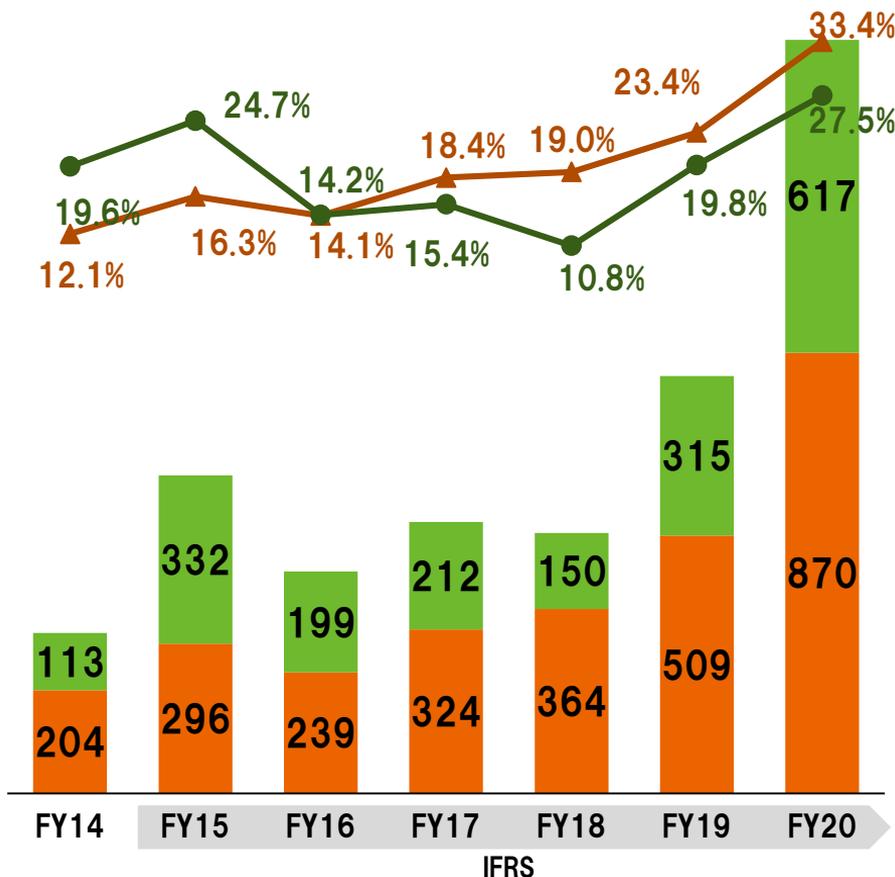
## メディア広告事業 （+70.8%）

（百万円）



# 営業利益 セグメント別（累計）

（百万円）



— メディア広告事業 営業利益率

— リードジェン事業 営業利益率

## リードジェン事業

前期比 +96.2 % Q3累計過去最高

- デジタルイベント強化によりコスト増加も利益率向上

## メディア広告事業

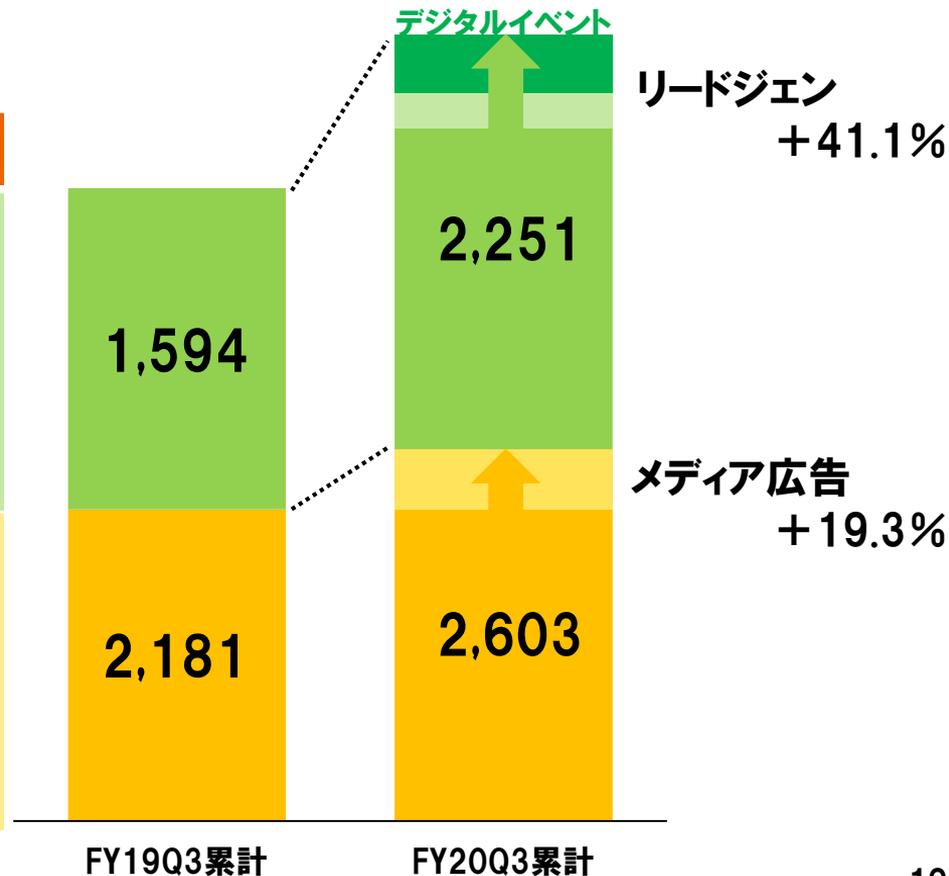
前期比 +70.8 % Q3累計過去最高

- 増収に伴い利益率が向上

# 第3四半期のトピックス

✓ 既存事業の成長加速に加え、デジタルイベントが新たな成長軸に

顧客市場	メディア・マーケ市場
テクノロジー市場 活況	マーケティングの オンラインシフト加速
消費者向け運用型 広告市場 やや鈍化	オンラインメディアの 利用拡大



## 企業の デジタルシフト加速

- B2B領域: 全般堅調  
(IT・産業テクノロジー領域)
- DXがテーマとなるビジネス領域: 急成長



クラウド、SaaS、  
産業DX領域を強化

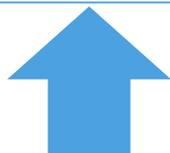
## B2Bマーケティングの デジタルシフト加速

- デジタルマーケティングの主力商品  
「リードジェン」が堅調
- デジタルイベント事業: 4倍に迫る成長
- メディア広告にも追い風



リードジェン、  
デジタルイベントを強化

## 事業規模



既存営業力を行使  
先行企業として事業拡大に注力

展開中（テクノロジー産業中心）



IT

製造

エレクトロニクス

建設、流通 etc.

デジタルイベント市場  
の成長を享受

領域の拡大

イベント支援事業者等、パートナー  
との連携を通じた市場開拓・拡大

様々な産業領域

官公庁

金融

医療

製薬 etc.

- ・リソースの強化を継続
- ・独立事業部体制へ移行 ⇒ スピードアップ

展開領域

## イベント業界の有力企業とのパートナーシップを強化

運営リソース

クオリティ

販路

- キャパシティの向上
- 非テクノロジー系業界も含む拡販

2020年12月11日プレスリリース

株式会社博報堂プロダクツと連携開始 **・PRODUCT'S・**

会期:2021年2月16日~3月19日  
会場:オンライン

## Q2に続き本年度2回目の開催を予定

ITmedia Virtual EXPO 2021 春  
国内最大級のバーチャル展示会

[参加申込](#)

会期 2021.2.16 - 3.19 (24時間開催)  
会場 オンライン 参加費 無料



[イベント概要](#) [主催者講演一覧](#) [出展企業](#) [来場案内/特典](#) [前回の開催実績](#)

など  
搭載チップ  
みえる  
ド



アナリスト

1/1スケール「ロビンマスク」に  
命を吹き込む、  
カスタムの  
精密鑄造技術



株式会社キャストム  
新規事業本部 IRON FACTORY 池田 真一 氏

### ○ 9つのテーマEXPOで構成

- メカ設計 EXPO
- スマートファクトリー EXPO
- 組み込み開発 & エレクトロニクス・AI EXPO
- Building × IT EXPO
- リテール & ロジスティクス サプライチェーン EXPO
- モノづくり × スタートアップ EXPO
- 製造業向けクラウド&エッジ IoT ソリューション EXPO
- オートメーションコンポーネンツフェア
- 製造業向けICT基盤 EXPO

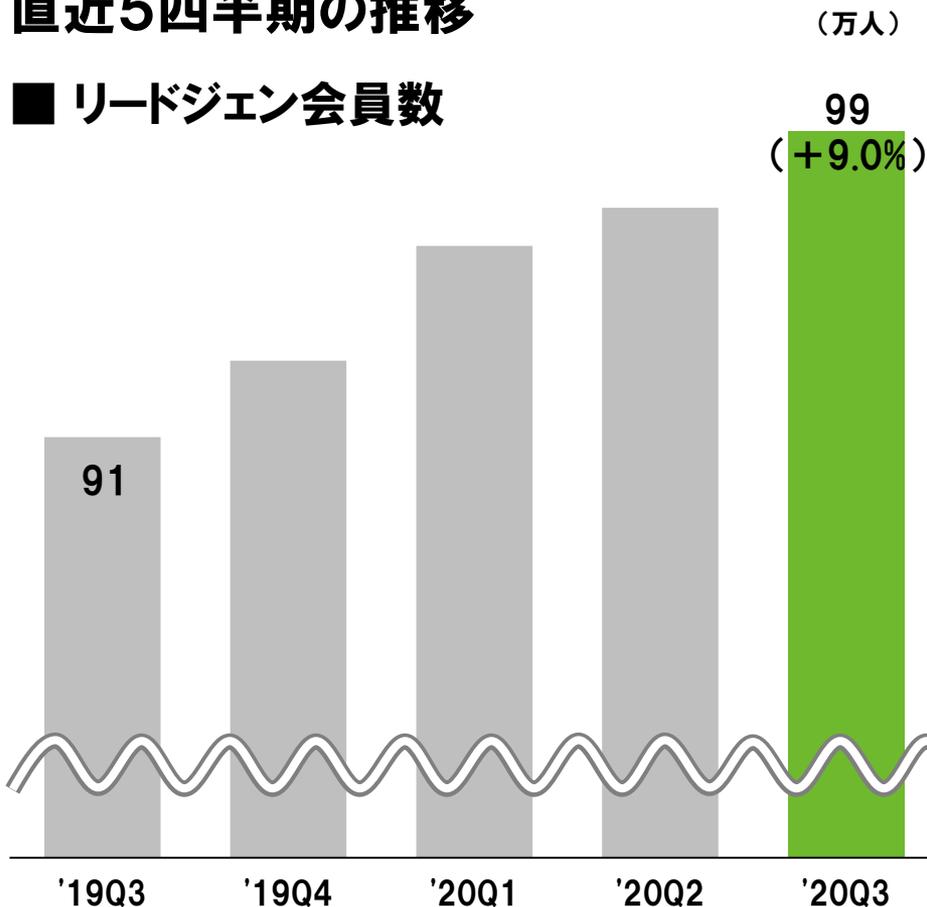
国内最大級バーチャル専門展示会 ITmedia Virtual EXPO

<https://ve.itmedia.co.jp/>

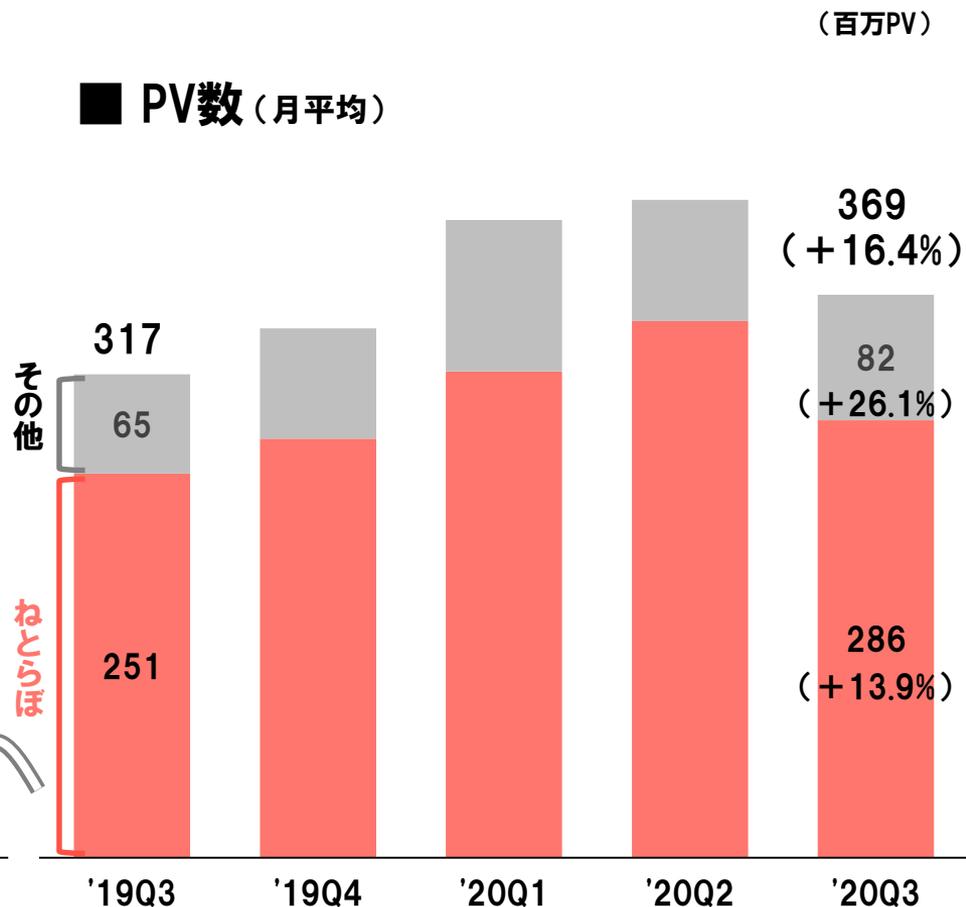
# KPIの状況

## 直近5四半期の推移

### ■ リードジェン会員数

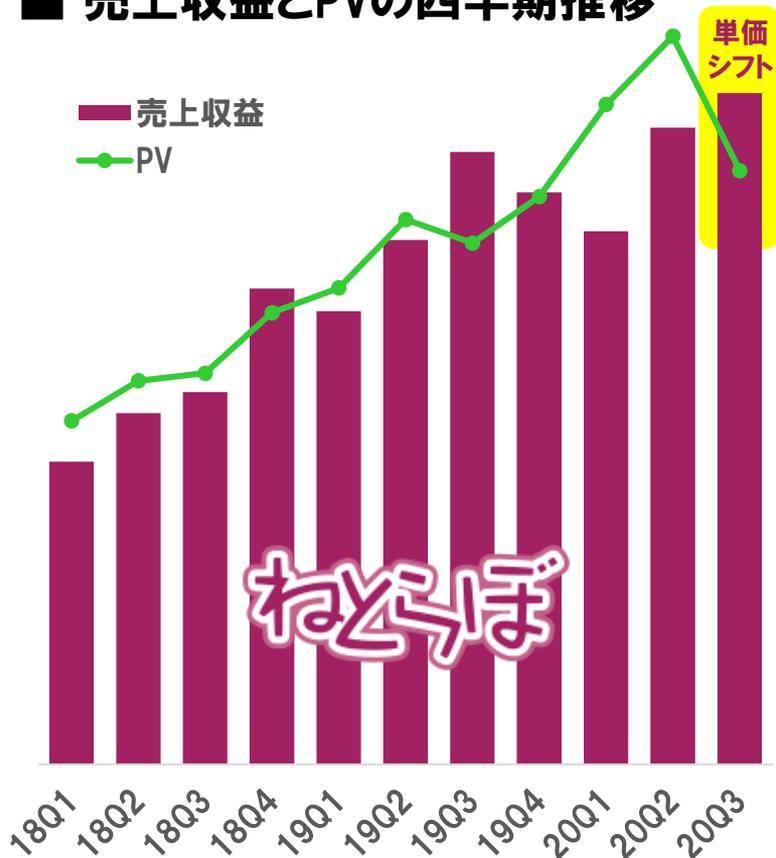


### ■ PV数 (月平均)



※共通会員基盤「アイティメディア ID」上でリードジェンサービスの対象となっている会員数

## ■ 売上収益とPVの四半期推移



期初より広告単価  
下落傾向が継続  
(新型コロナ影響)

下期よりPV優先から  
売上効率重視の運営にシフト

Q3はPV減速も  
売上収益は四半期過去最高

# 2021年3月期 業績予想・配当予想

## Online Centric

**法人営業**  
のオンライン化

**リードジェン**



**デジタルマーケティングの  
基礎燃料**

**メディア**  
のオンライン化

**メディア広告**



**スマート＆  
ソーシャル**

**イベント**  
のオンライン化

**デジタルイベント**



**動画を活用した  
イベントの革新**

働く「場所」  
の変化

リモートワーク  
環境の改善

オフィス改革

本社オフィス  
縮小

機能  
最適化

ICT／BPR強化

ICTツール  
最適化

BPR推進

従業員の働きがい

在宅勤務手当

インセンティブ

コミュニケーション &  
業務効率の維持・向上

働きたくなる  
魅力的な企業へ

## 第4四半期 1億円規模の追加コスト投入を計画

### オフィス改革

紀尾井町オフィス  
1/4を解約

※来期より賃料減少 年間0.5億円想定

デジタルイベントなど  
オフィス機能を最適化

### ICT／BPR強化

リモートワーク前提の  
業務環境最適化  
(SaaS活用)

PC・モバイル  
リプレイス

### 従業員の働きがい

手当を増額  
在宅勤務の負担をケア

賞与等  
インセンティブ

## Q3

- 良好なトレンドが継続
- 想定を上振れ

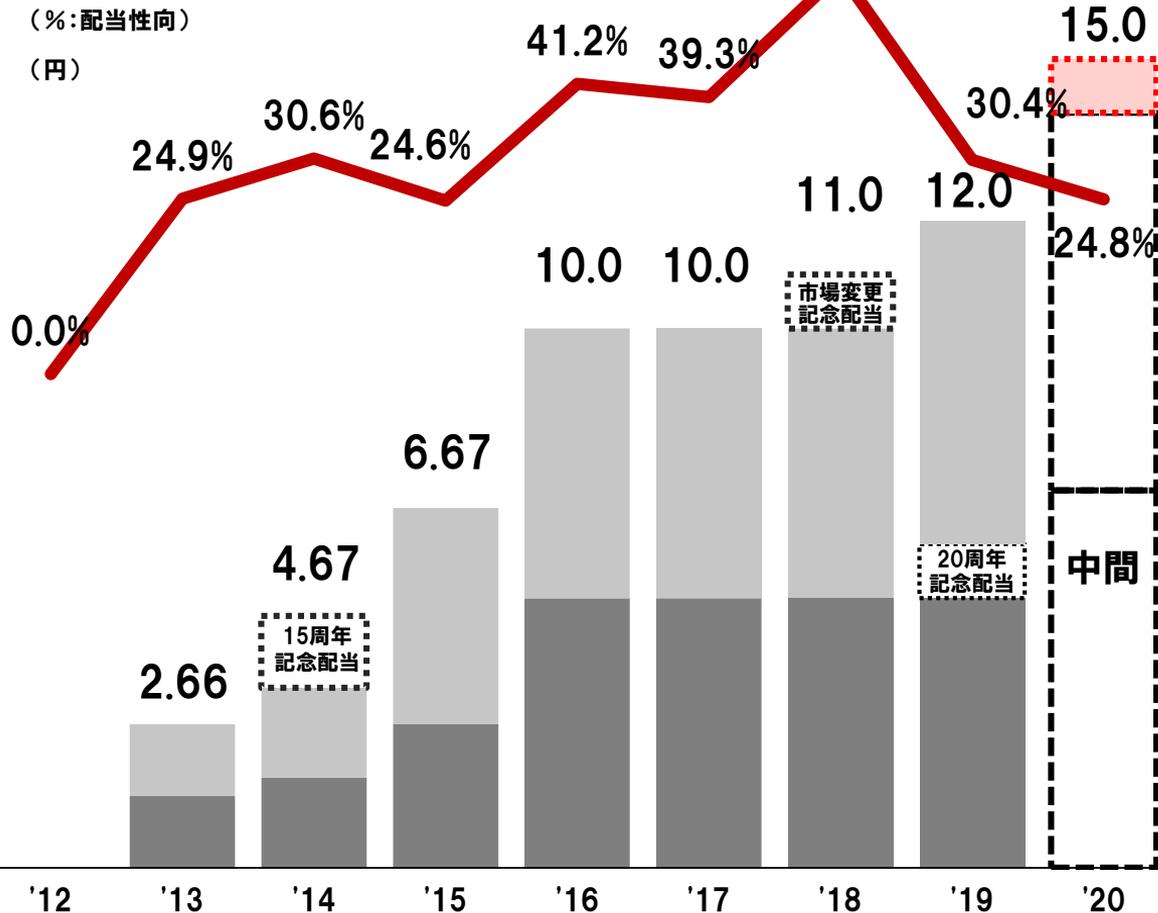
## Q4

- 売上収益見通しを上方修正
- 前ページの追加コストを反映

(百万円)	売上収益	営業利益	親会社の所有者に帰属する 当期利益
<b>修正予想</b>	<b>6,600</b>	<b>1,900</b>	<b>1,200</b>
前期比	(+25.0%)	(+62.1%)	(+53.7%)
<b>前回予想</b>	<b>6,380</b>	<b>1,730</b>	<b>1,120</b>
修正増減	(+220)	(+170)	(+80)
<b>前期実績</b>	<b>5,278</b>	<b>1,172</b>	<b>780</b>

※上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 配当金の推移と予想



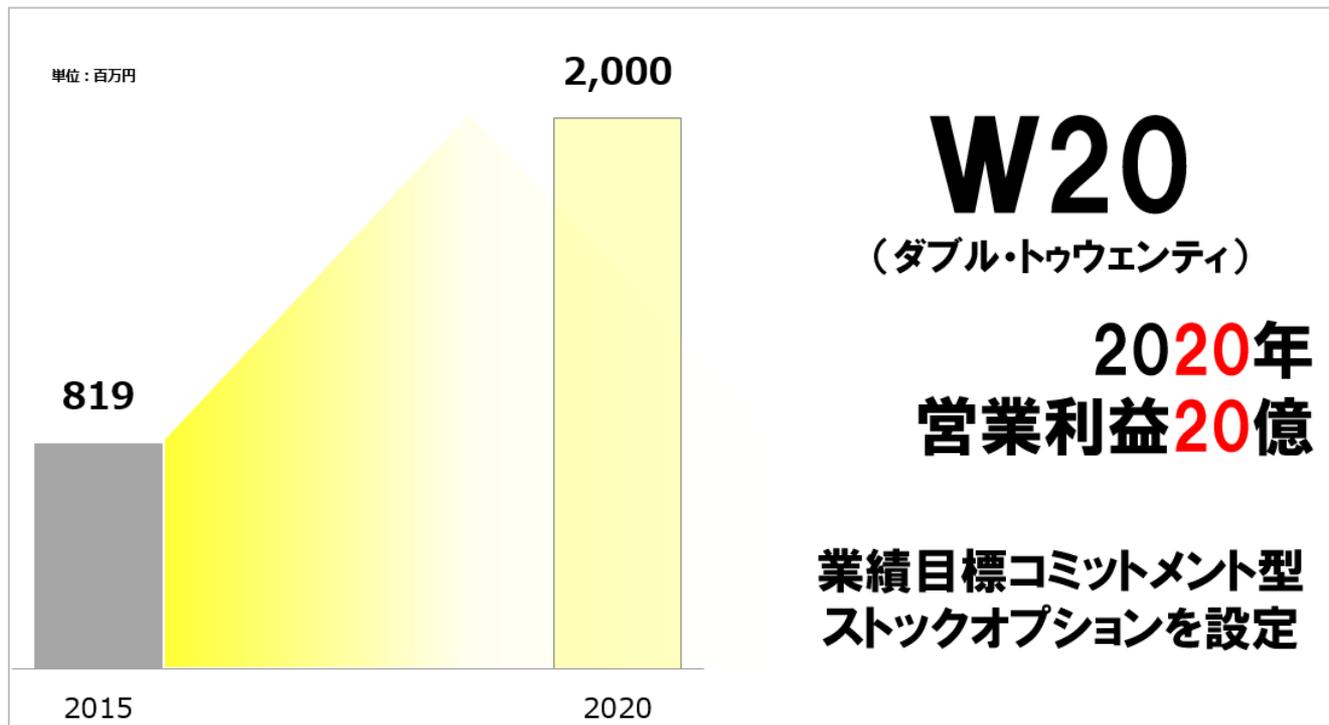
## 期末配当予想 1円上方修正

期末配当8円

中間配当7円

※ 当社は2015年12月1日付で株式の3分割を実施しており、上記では過去の数値も含め分割後の基準に統一しています。

## 中期目標も視野に



(2016年度 決算説明資料より)

メディアの革新を通じて  
情報革命を実現し、社会に貢献する



ITmedia Inc.